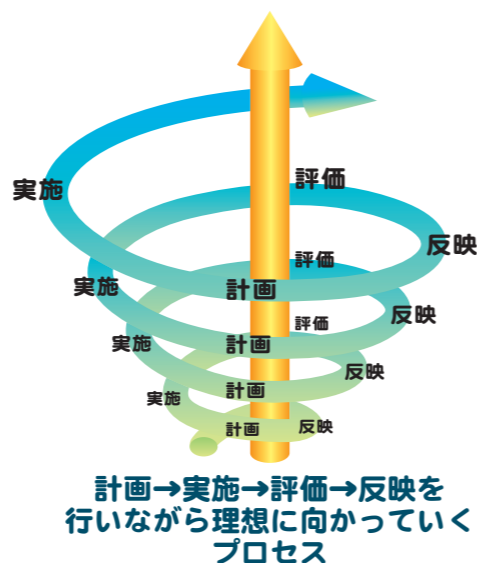


## バリアフリーの実現に向けて

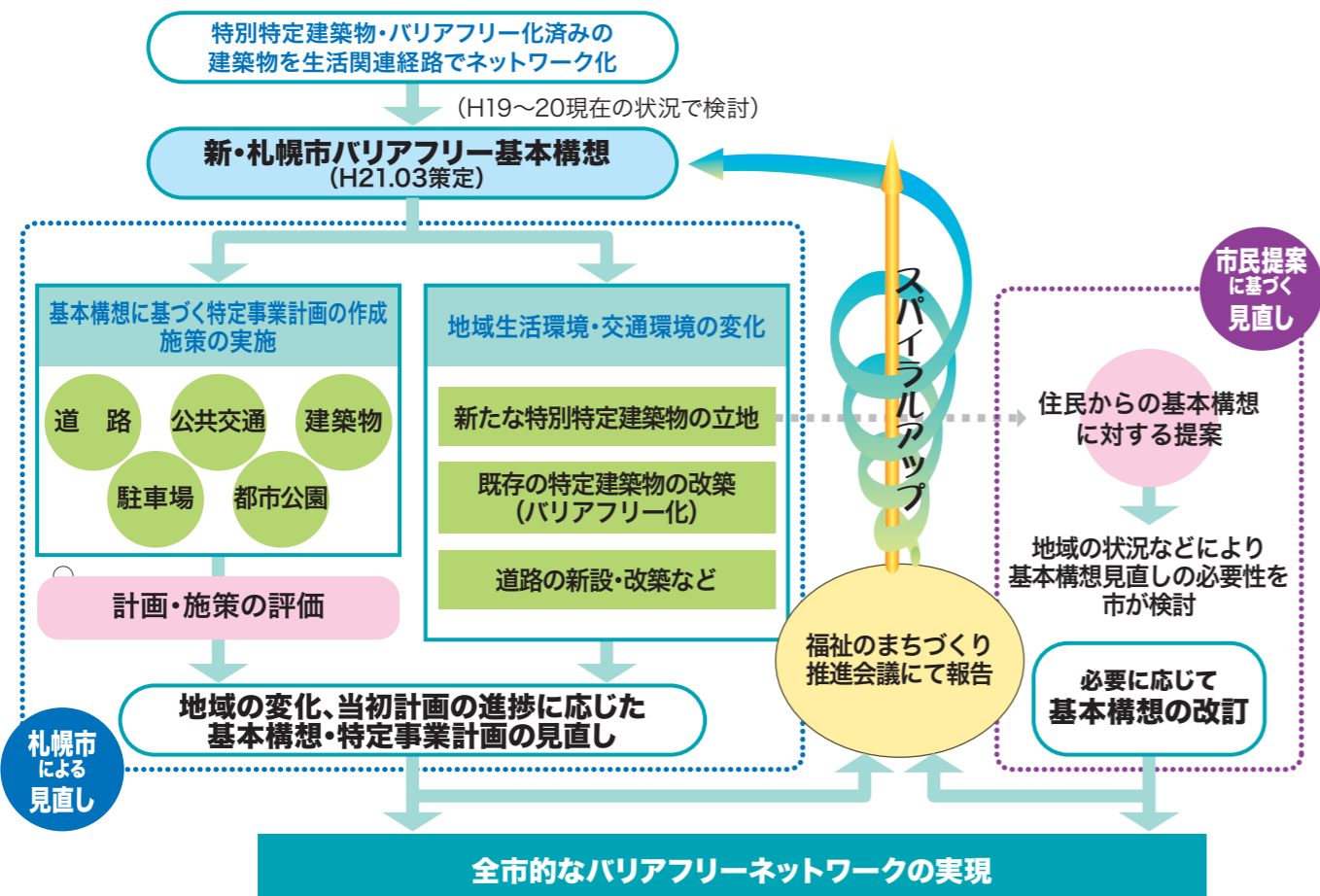
### スパイラルアップの考え方

高齢化と、これに対応したユニバーサルデザインの考え方が求められる中で、バリアフリーを進めるためには、具体的な施策や措置を当事者参加の下で検証し、その結果に基づいて段階的・継続的な発展を図っていくことが重要となります。  
このような考え方を「スパイラルアップ」と呼びます。



### 今後の進め方

どこをいつまでに整備を進めていくかについて、各施設管理者が特定事業計画を策定し、これに基づき計画的に整備を進めていきます。この際、社会変化などにより基本構想や特定事業計画の見直しが必要となった場合は、スパイラルアップの考え方にに基づき随時見直しを行い、全市的なバリアフリーネットワークの実現を目指します。



## ユニバーサル社会の実現のために

新たな基本構想策定後には、各施設管理者が基本構想に沿った特定事業計画を策定し、ハード面のバリアフリー化整備が推進されます。しかし、ユニバーサル社会の実現を目指すためには、全ての人の“こころのバリアフリー”も同時に進めていくことが重要です。各施設管理者が駅や道路などのバリアフリー化整備を進めることに加え、利用者がお互いにマナーを守り、ゆずりあい、支え合うことで初めて、安全・安心・快適なバリアフリーを実現することができます。

**誰にとっても使いやすくするために**

行政・関係機関の 取り組み・役割

**ハード面のバリアフリー**

- 歩行空間の整備
- 歩行空間の適切な維持管理

● 駅などの旅客施設で

- ・ エレベータの設置
- ・ 誘導用ブロックの適切な配置 (ほか)

● 道路で

- ・ 歩道幅員の確保
- ・ 段差の解消
- ・ 勾配の改善 (ほか)

● その他

- ・ 信号機の高度化
- ・ 都市公園の整備 (ほか)

**みんなで使いやすくするために**

住民・利用者の 取り組み・役割

**ソフト面のバリアフリー**

- マナーを守った利用
- 利用者相互の助けあい

● 自分が使うときは

- ・ マナーを守って利用する
- ・ 誘導用ブロックの上に物を置かない
- ・ 公共の場所にゴミを捨てない など

● 他の人が使うときに

- ・ ほんのちょっとのお手伝いが大きな助けに
- ・ 移動で困っている人に「お手伝いしましょうか」と声をかけてみる など

**安全・安心・快適に暮らせる バリアフリーの実現**